

第177回 中小企業景況調査報告書

景況動向

2023年 7月～9月期 実績

2023年 10月～12月期 見通し

2023年 10月

岐阜県商工会連合会

中小企業景況調査

—— 2023年7月～9月 ——

はじめに

中小企業景況調査とは、最近のめまぐるしい経済環境の変化に即応するため、地域の経済動向等に関する諸事情を把握・分析し各商工会・企業へ情報を提供するとともに、経営対策の一助とするため、昭和54年度より四半期毎に実施しているものです。本報告書は、第177回調査結果（2023年7月～9月期）の概要です。原油・原材料価格の高騰の影響が続いており、今後の景況動向に引き続き注視していく必要があります。

1. 調査方法

商工会の経営指導員等による訪問面接調査

2. 調査対象時期

2023年7～9月を対象とし、調査時点は2023年9月1日とした。

3. 調査対象商工会

2023年度の調査対象商工会は、次のとおりとする。

大垣市・高山南・関市東・中津川北・恵那市恵南・郡上市・
安八町・池田町・北方町・坂祝町・富加町・八百津町・御嵩町・
笠原町・小坂町・下呂 以上16商工会

4. 調査対象企業及び内訳

本調査における調査対象企業は、地区内の中小企業（建設業及び製造業については従業員300人以下又は、資本金3億円以下、小売業については、それぞれ50人以下又は、5千万円以下、サービス業については、それぞれ100人以下又は、5千万円以下）とする。

但し、おおむね80%は小規模企業（建設業及び製造業については従業員20人以下、小売・サービス業については5人以下の企業）とする。

(1) 対象地区・企業数

	岐 阜 県
対 象 地 区	16 商工会地区
対象企業数	240 企業
回答企業数	240 企業 (回答率 100%)

(2) 産業別構成

	回答企業数	構成比 (%)
製 造 業	48	20.0
建 設 業	34	14.2
小 売 業	68	28.3
サービス業	90	37.5
合 計	240	100.0

DIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各項目についての増加（上昇・好転・長期化）企業割合と減少（低下・悪化・短期化）企業割合の差を示すものです。

産業全体の業況D I 値が 5 ポイント以上悪化

〔県下商工会の概要〕

◆ 産 業 全 体 ◆

産業全体（全業種）の前年同期比の業況D I 値は、▲13.8で前期（2023年7月～9月期）と比べ5.4ポイント悪化した。

業種別の業況D I 値は、製造業は4.2ポイント改善したが、建設業5.9ポイント、小売業14.5ポイント、サービス業3.2ポイントの悪化となった。

原材料価格や仕入単価の高騰が続いており、業況D I 値も引き続き影響を受ける恐れがある。

（1）今期の概要

① 売上額（完成工事高）

全業種の売上D I 値は1.3で前期比0.4ポイント悪化。

業種別では、製造業・サービス業は改善、建設業・小売業は悪化となった。

② 採算（経常利益）

全業種の採算D I 値は▲18.4で前期比9.4ポイント改善。

全業種で改善となった。

③ 資金繰り

全業種の資金繰りD I 値は▲9.2で前期比1.1ポイント改善。

業種別では、製造業・サービス業は改善、建設業・小売業は悪化となった。

④ 設備投資

設備投資は、30企業38件で前年比1企業、5件の増加となった。

⑤ 経営上の問題点

全体として、「材料価格の上昇」「仕入単価の上昇」など物価高が引き続き大きく影響している。

（2）来期の見通し

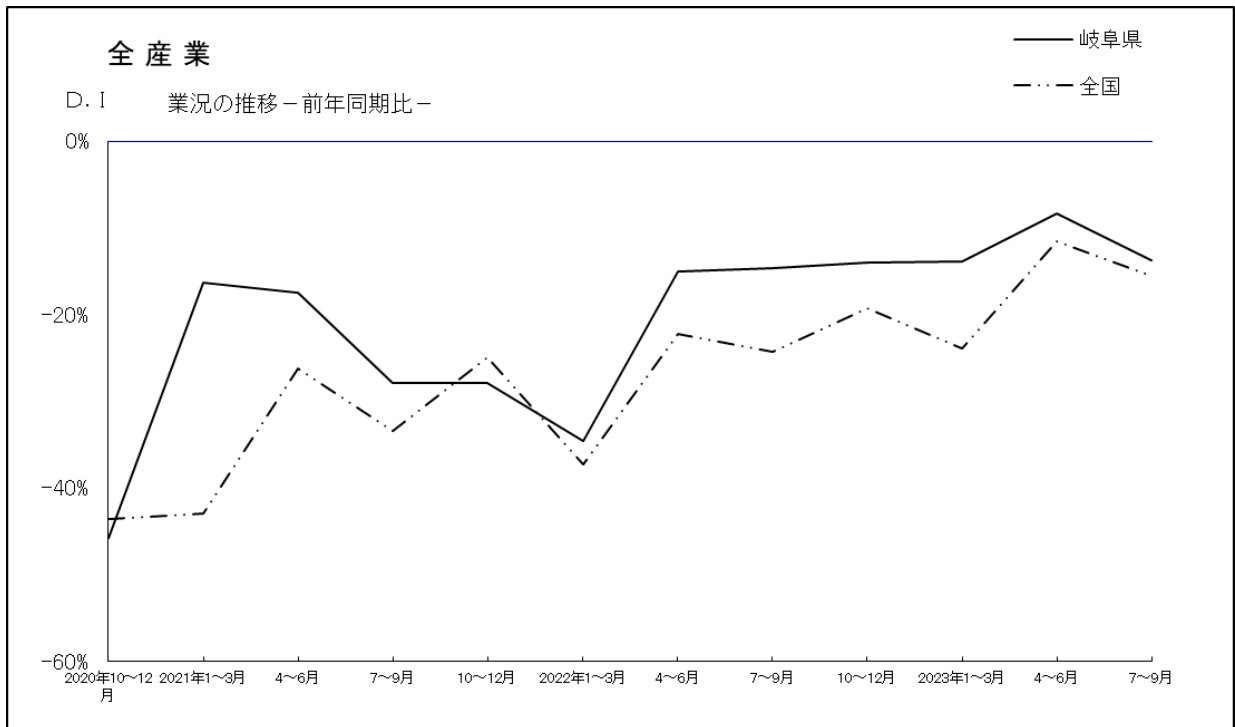
① 全産業の業況D I 値は▲20.4で▲6.7ポイント悪化の見通し。

業種別では、建設業以外は悪化の見通しである。

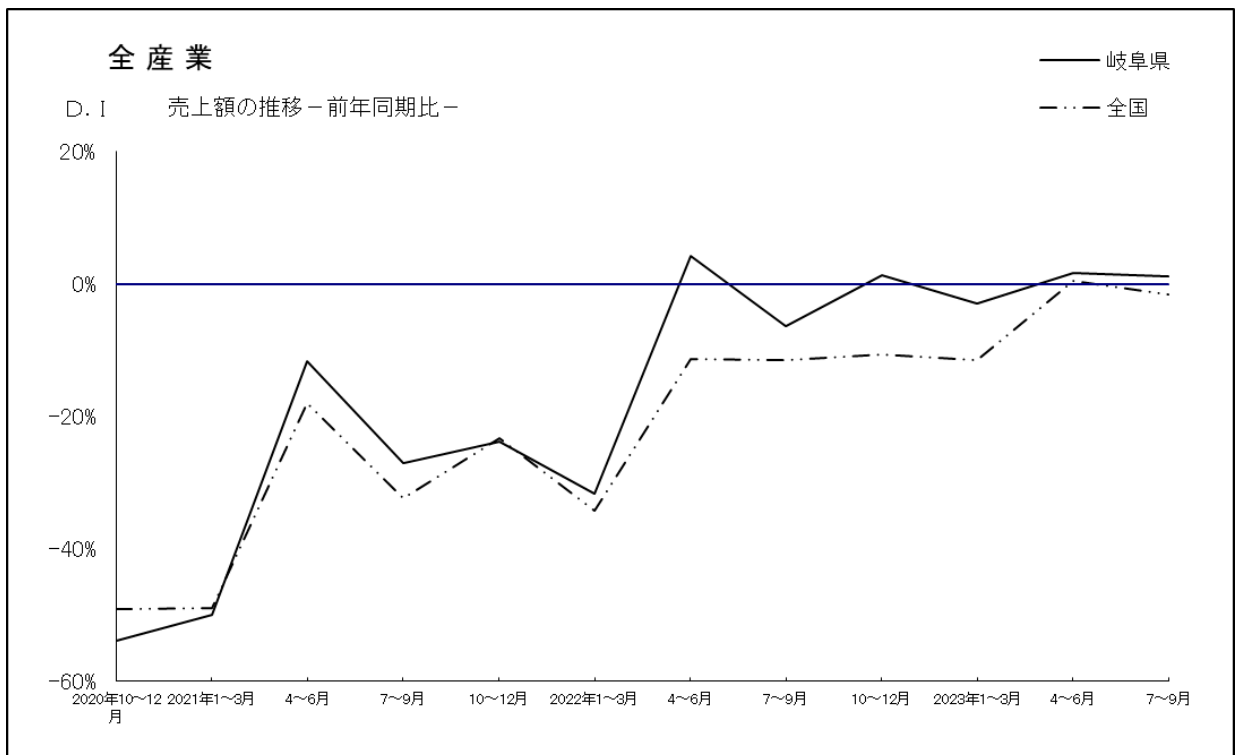
② 設備投資

32企業49件の設備投資を計画しており、今期に比べ2企業、11件増加の見通し。

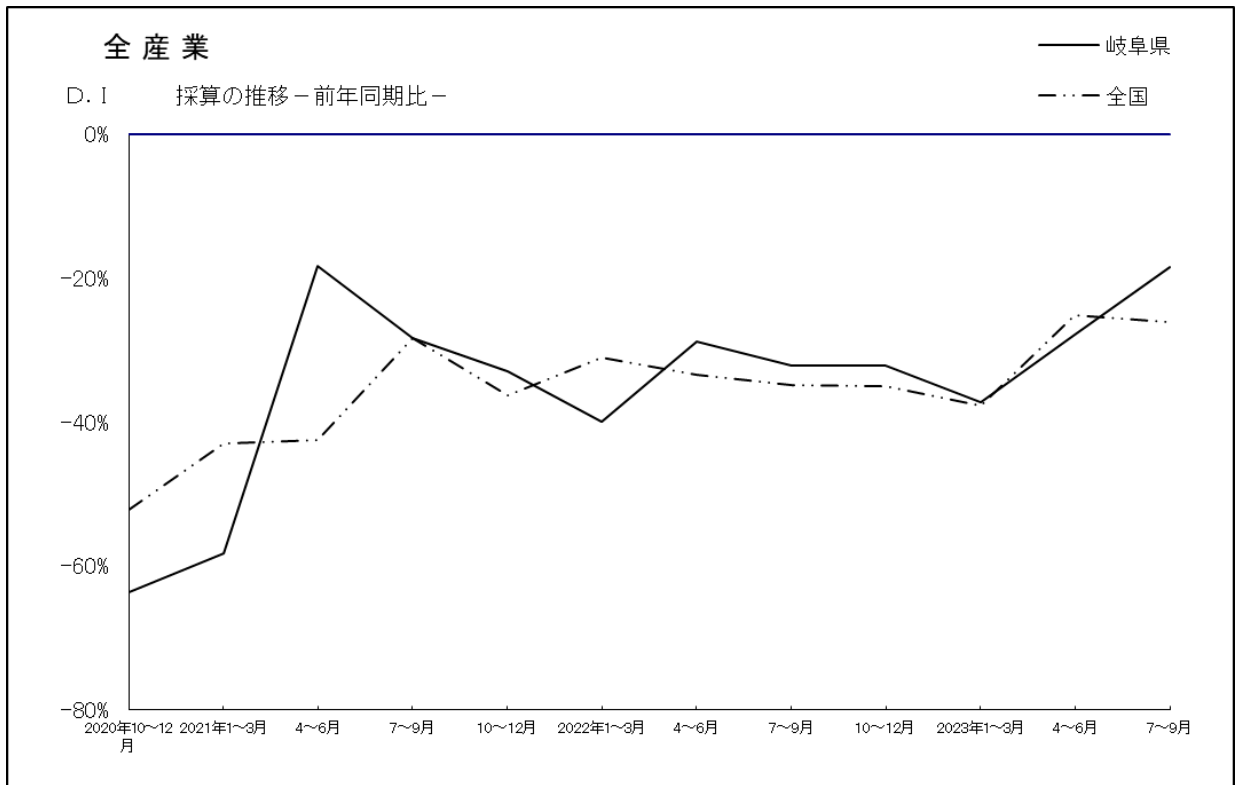
【G1-1】 産業全体D I：業況の推移（岐阜県・全国）



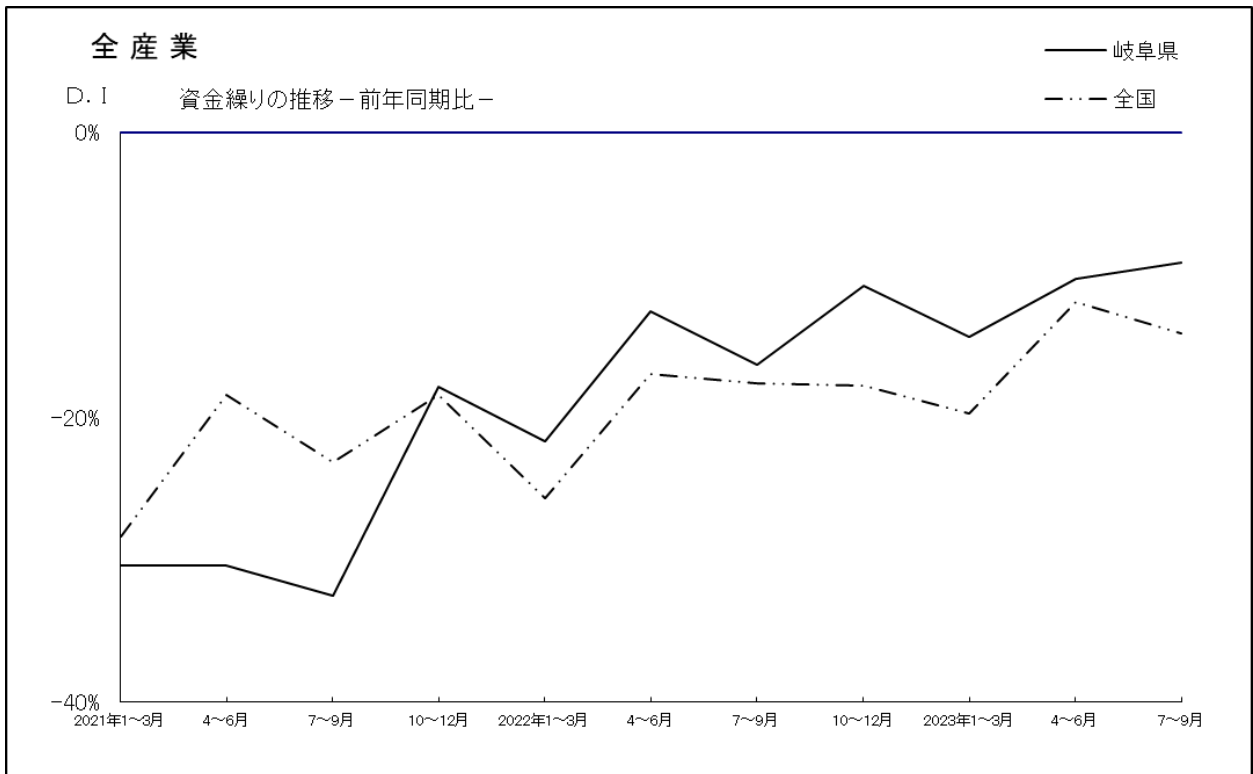
【G1-2】 産業全体D I：売上高の推移（岐阜県・全国）



【G1-3】 産業全体D I：採算の推移（岐阜県・全国）】



【G1-4】 産業全体D I：資金繰りの推移（岐阜県・全国）】



全てのD I 値が改善！ 売上D I 値は10ポイント以上の改善

I 製 造 業

前年同期比の業況D I 値は、6.3で前期に比べ4.2ポイント改善した。

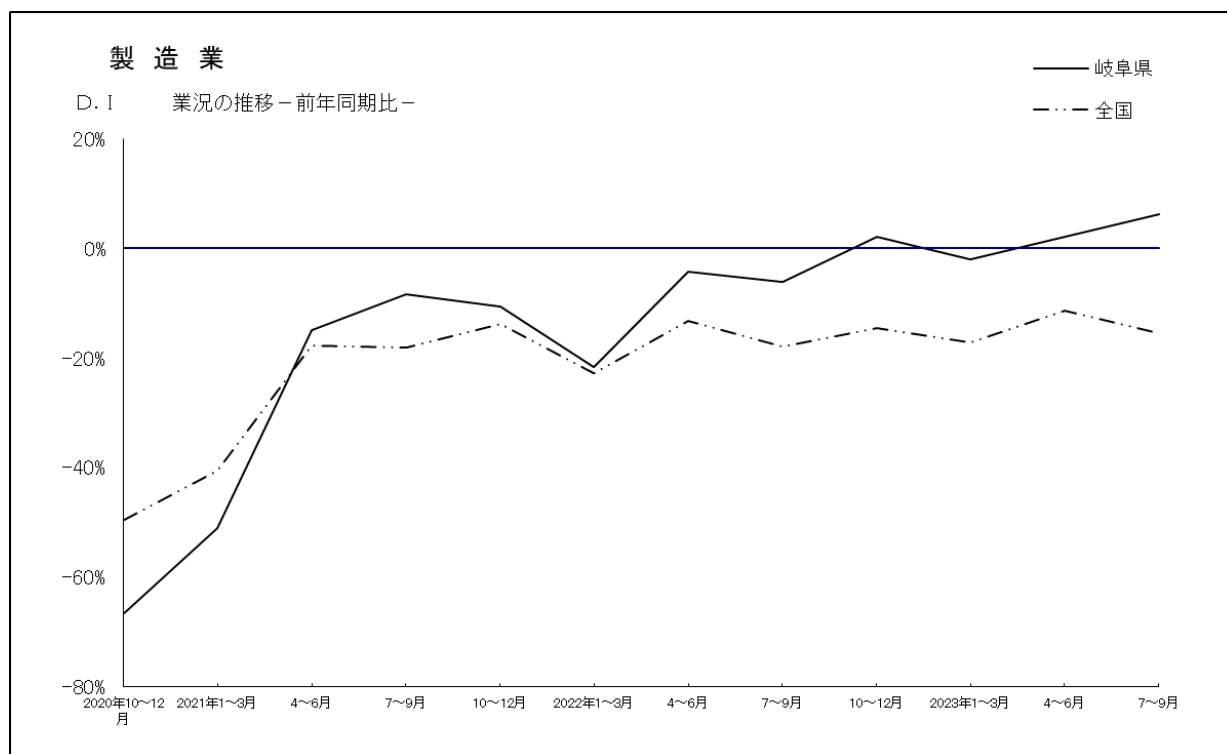
売上D I : 14.6で10.3ポイント、採算D I : ▲4.3で6.2ポイント、資金繰りD I : ▲4.2で8.3ポイントの改善となった。

設備投資は、5企業6件で前期比1企業減少、件数は変わらず。

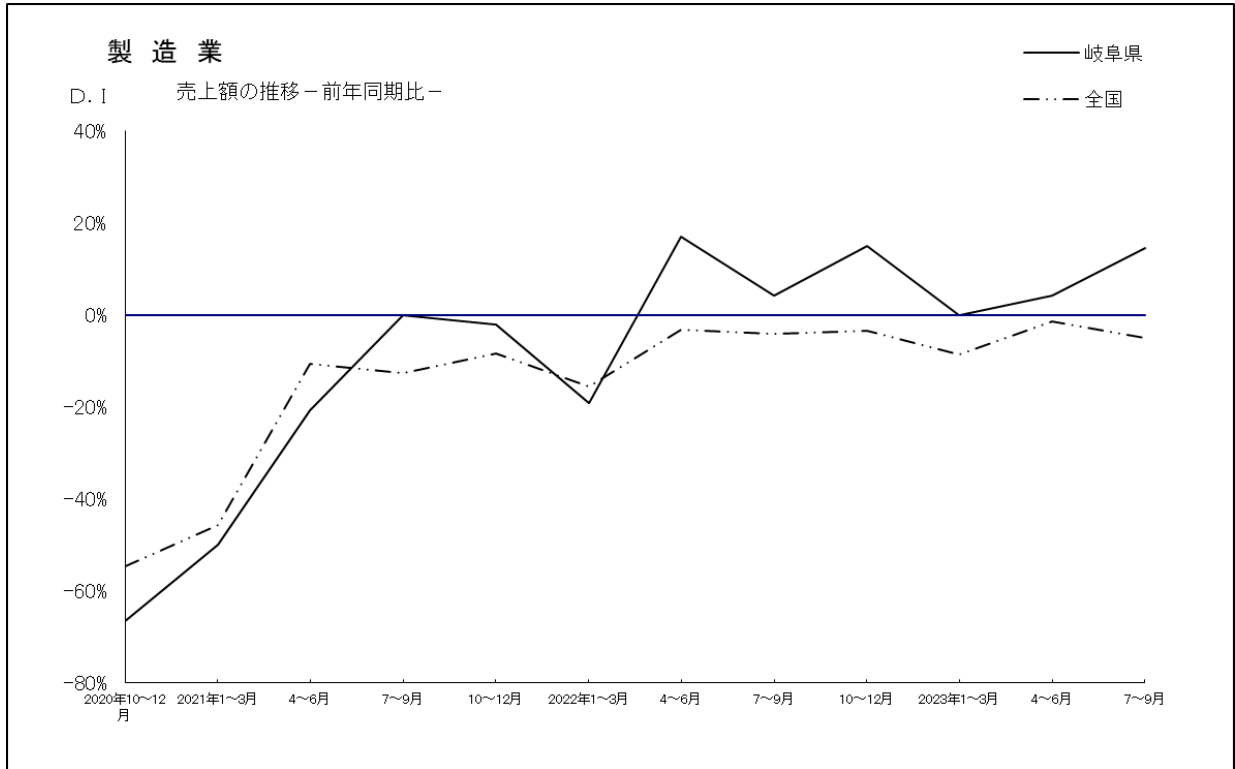
経営上の問題点は「原材料価格の上昇」が36.4%でトップ、次いで「製品ニーズの変化」、「生産設備の不足・老朽化」がそれぞれ13.6%となっている。

来期は、4項目すべてのD I 値が悪化の見通し。設備投資は6企業7件の計画であり、今期に比べ1企業、1件増加の見通しである。

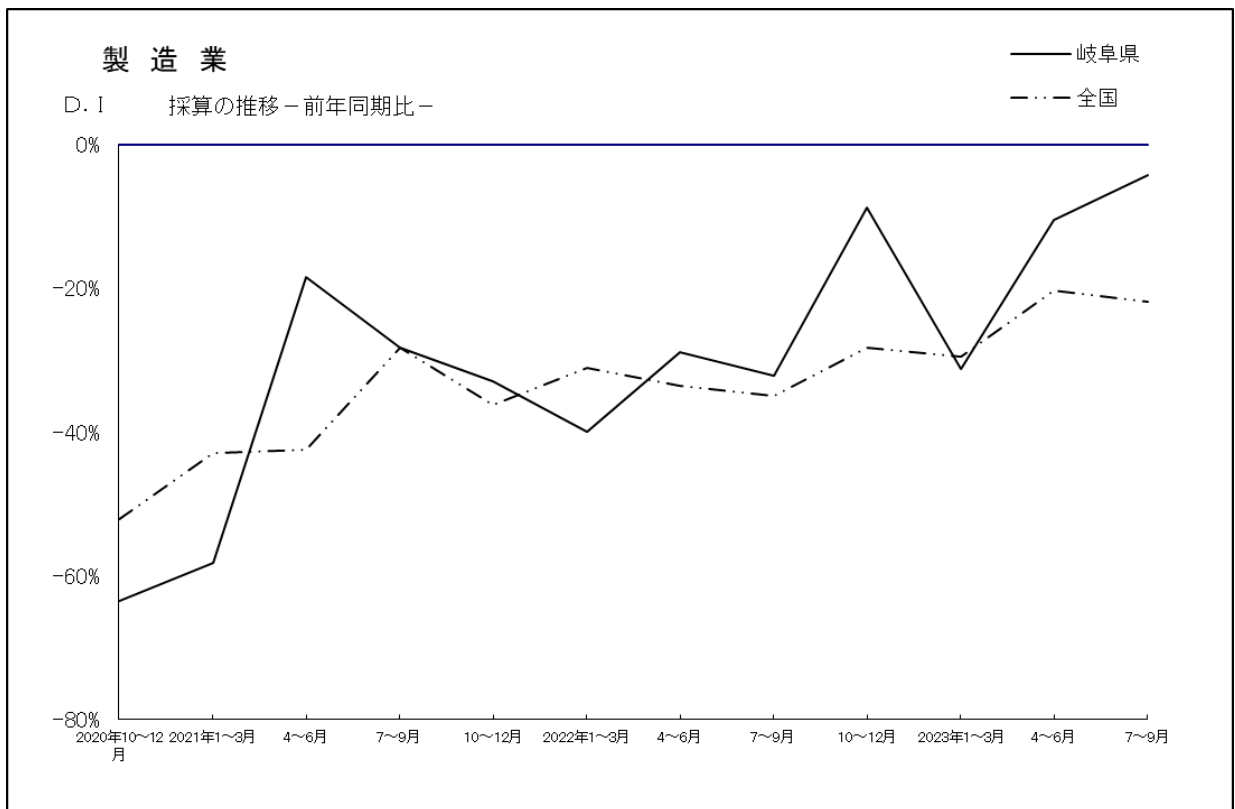
【G2-1】 製造業D I : 業況の推移



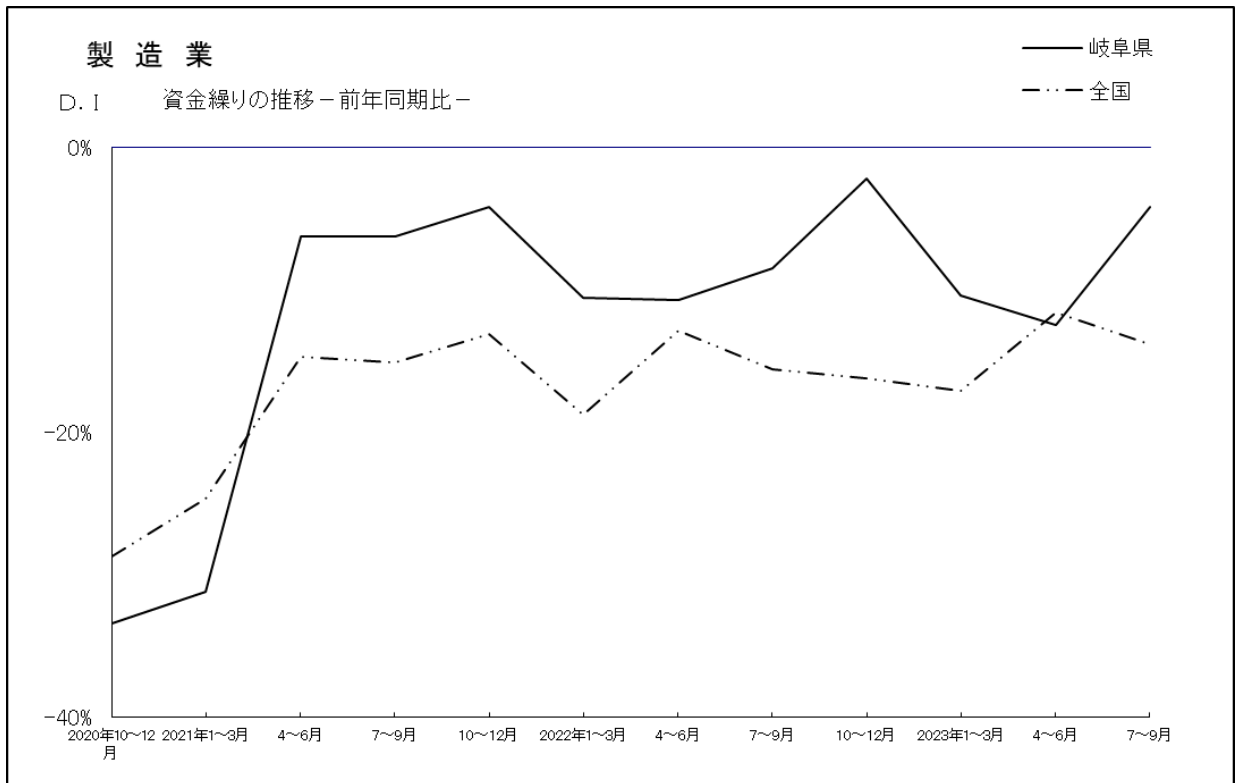
【G2-2】 製造業 D I : 売上額の推移



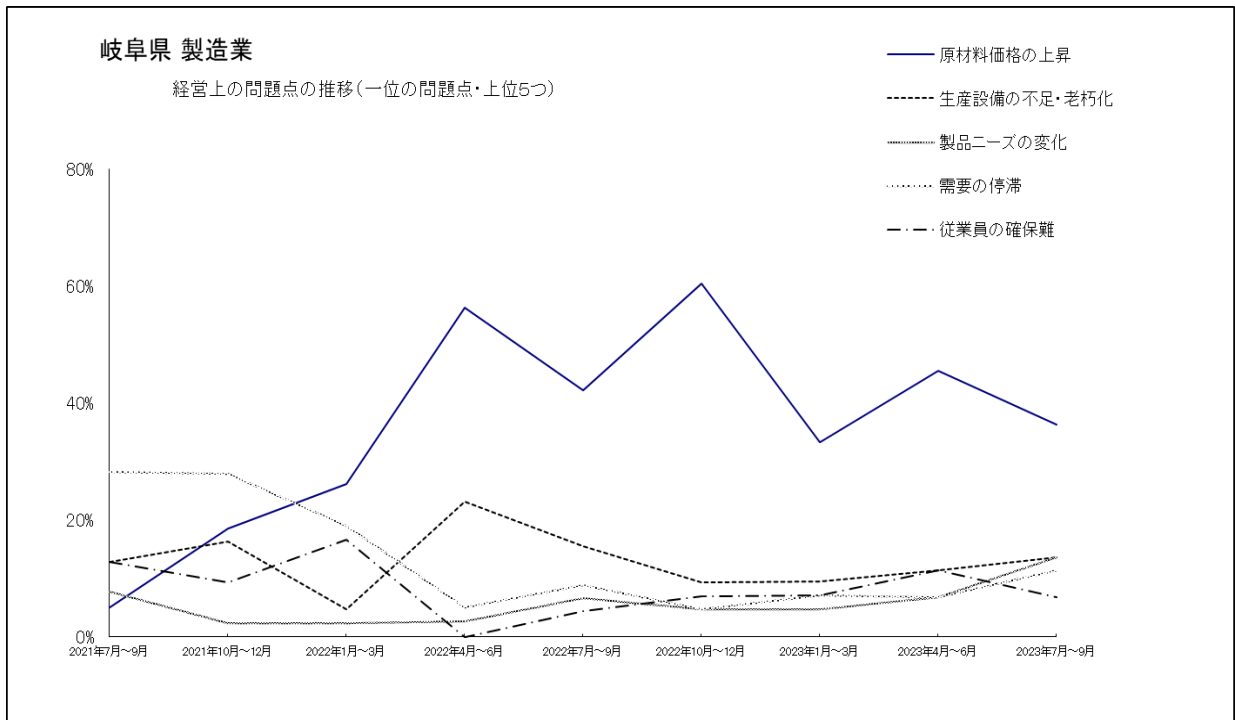
【G2-3】 製造業 D I : 採算の推移



【G2-4】 製造業 D I : 資金繰りの推移



【G2-5】 製造業 : 「経営上の問題点」の推移



採算 D I 値のみ改善 来期の業況は改善の見通し

Ⅱ 建 設 業

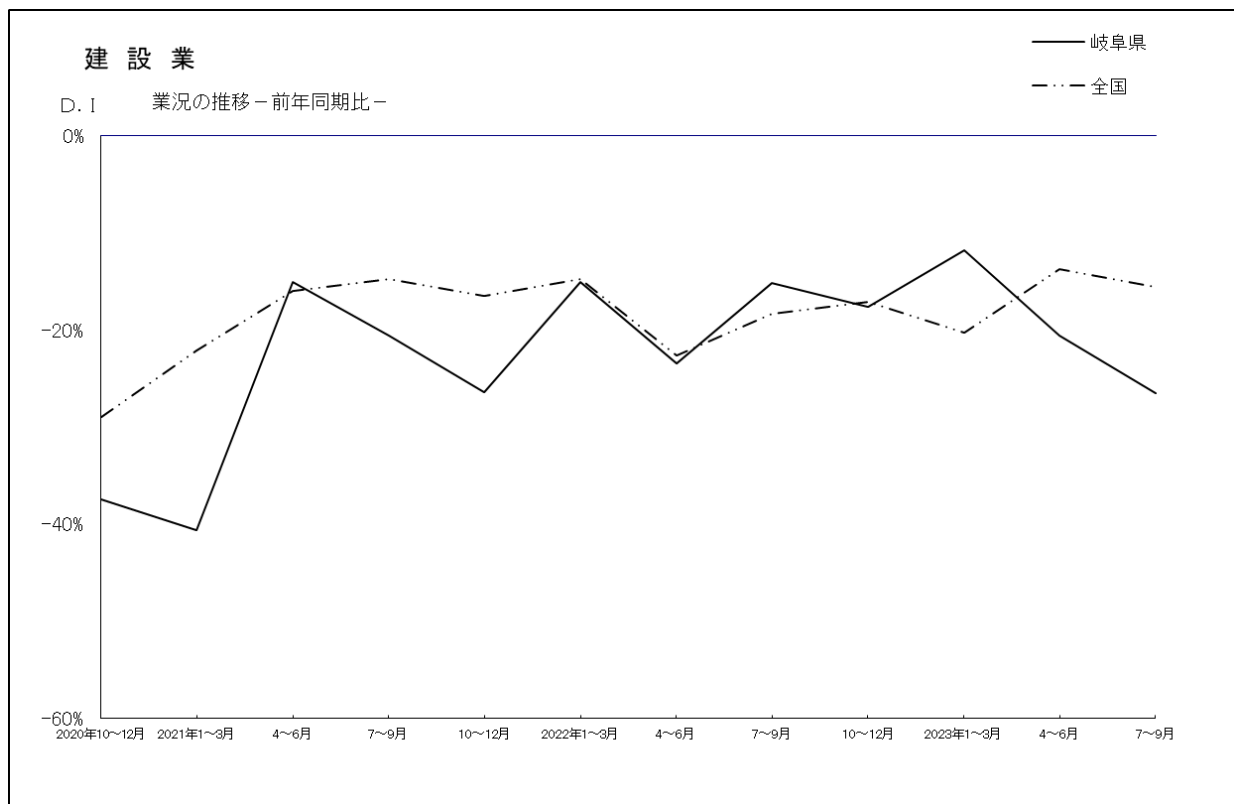
前年同期比の業況 D I 値は、▲26.5 で前期に比べ 5.9 ポイント悪化した。売上 D I : ▲41.2 で 14.7 ポイントの悪化、採算 D I : ▲20.6 で 2.9 ポイント改善、資金繰り D I : ▲17.6 で 8.6 ポイント悪化となった。

設備投資は、4 企業 5 件で前期比 2 企業、3 件の減少。

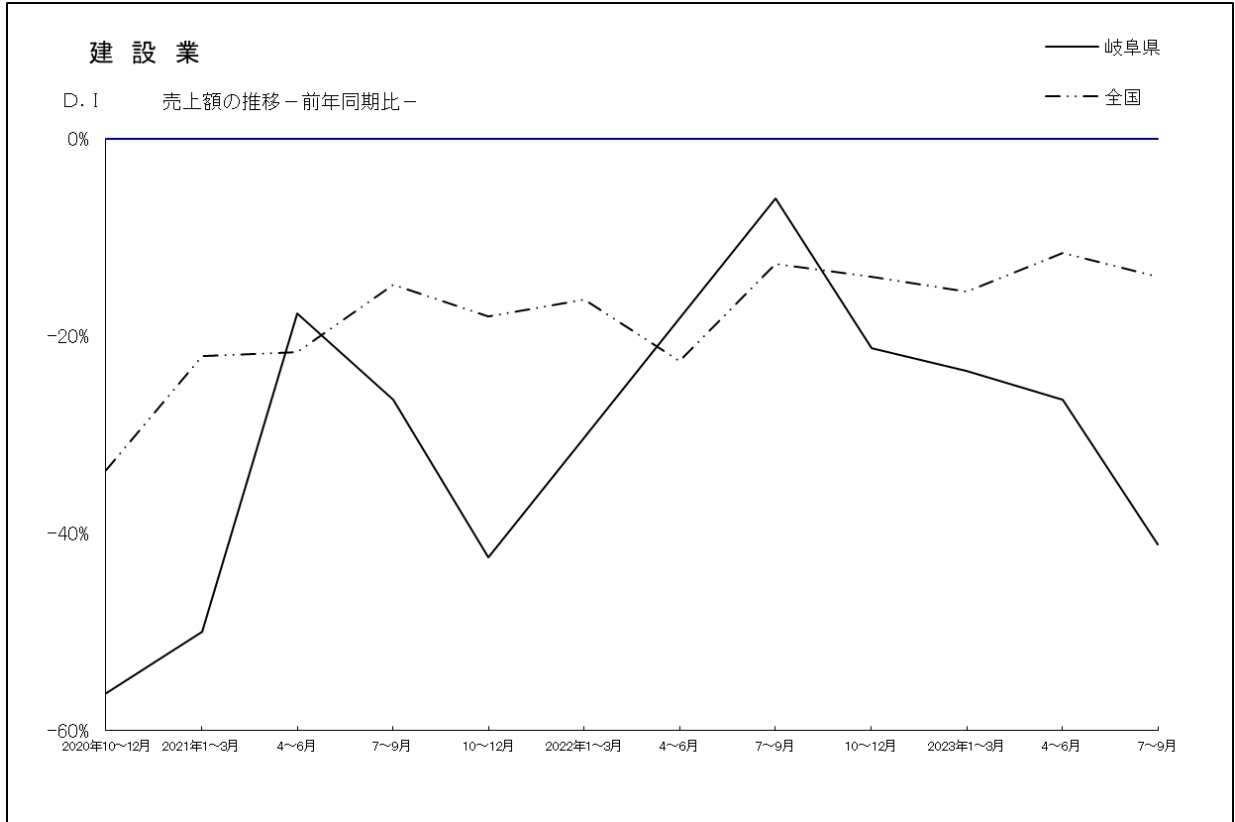
経営上の問題点は「材料価格の上昇」36.7%でトップ、次いで「従業員の確保難」で 13.3%となっている。

来期は業況・売上が改善、採算は変わらず、資金繰りは悪化の見通し。設備投資は 5 企業 8 件の計画で今期に比べ 1 企業、3 件増加の見通しである。

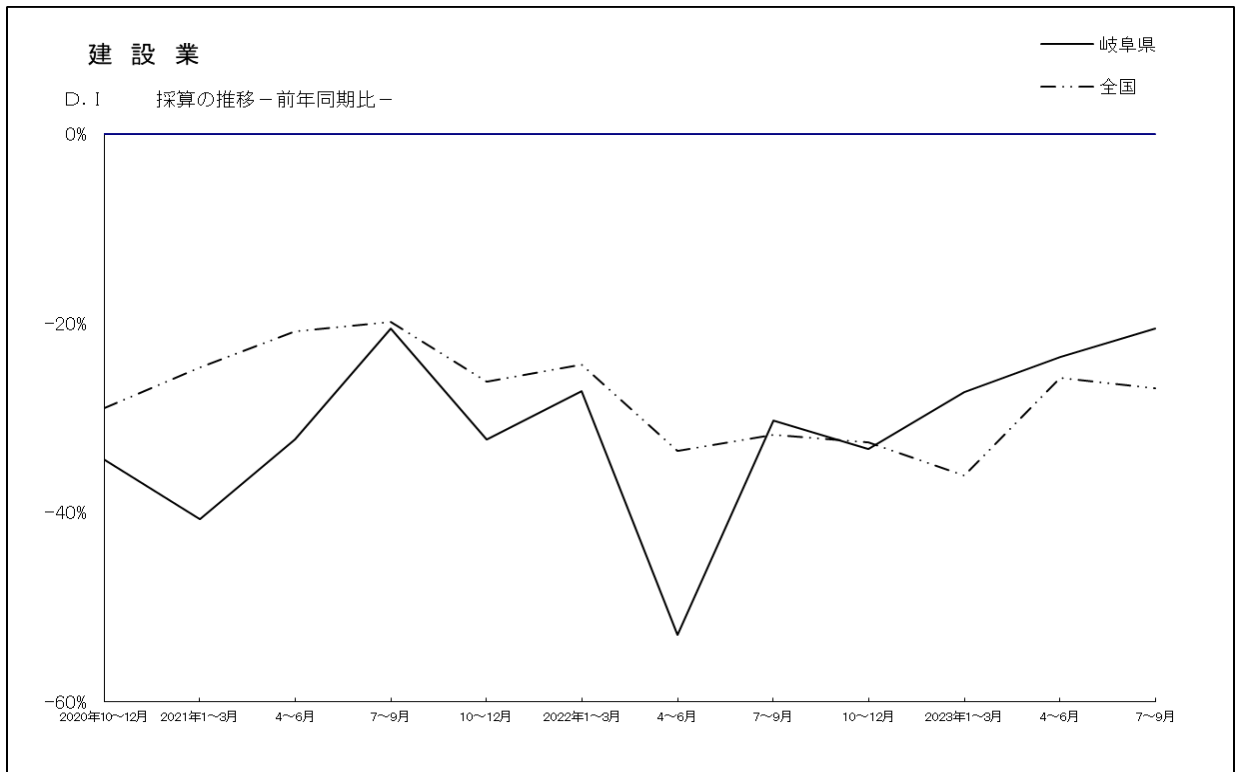
【G3-1】建設業 D I : 業況の推移



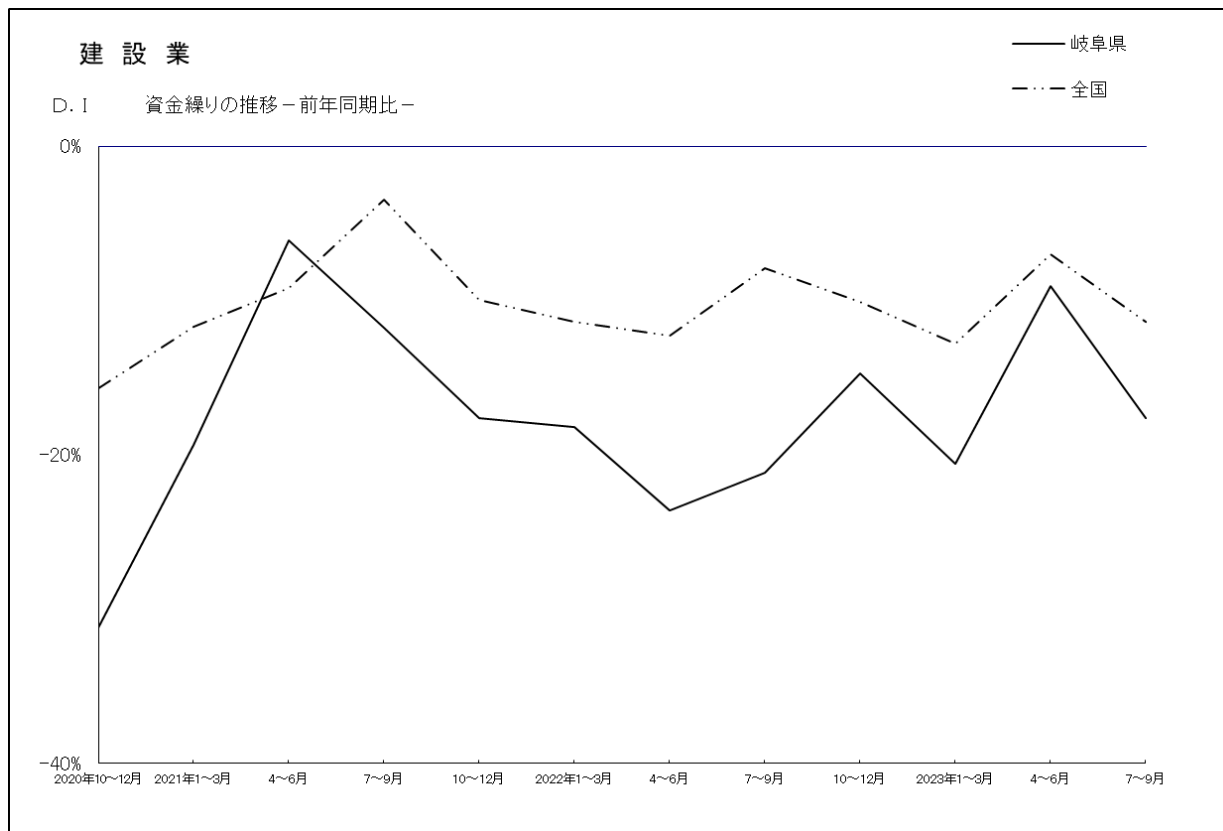
【G3-2】建設業D I：売上額の推移



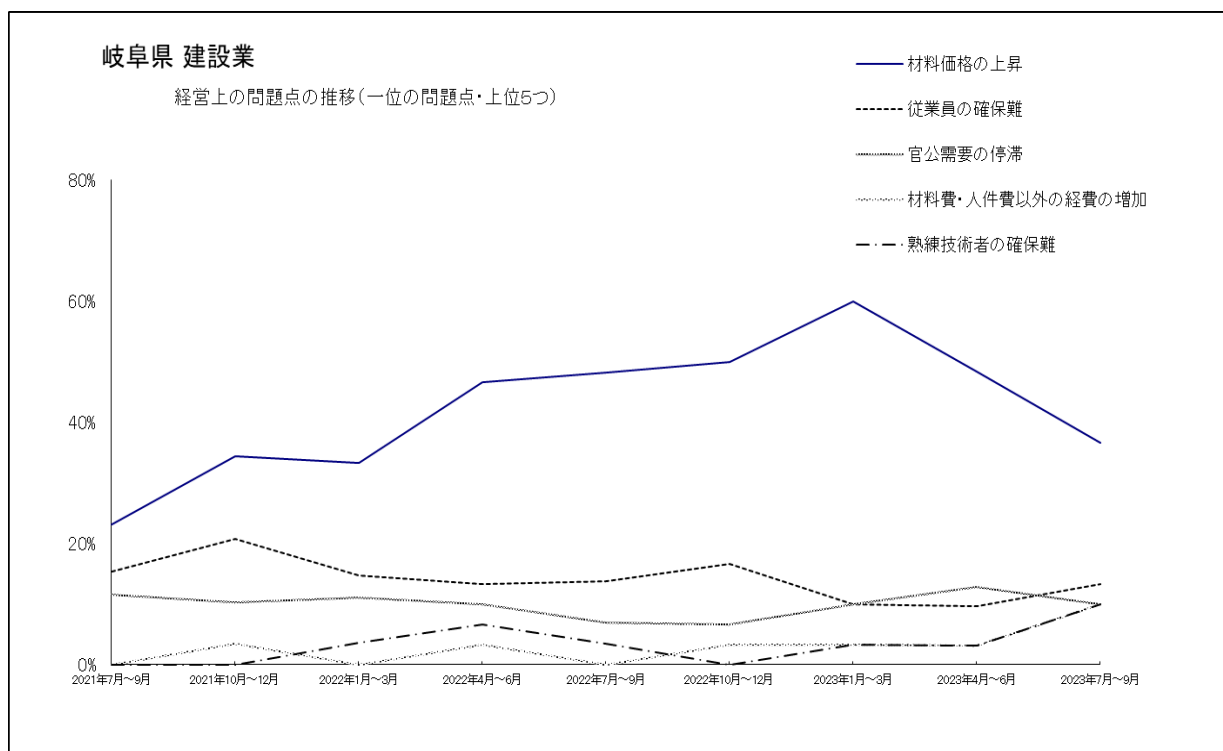
【G3-3】建設業D I：採算の推移



【G3-4】建設業D I：資金繰りの推移



【G3-5】建設業：「経営上の問題点」の推移



採算 D I 値のみ改善 来期は設備投資が大幅に増加の見通し

Ⅲ 小 売 業

前年同期比の業況 D I 値は、▲29.4 で前期に比べ 14.5 ポイント悪化した。

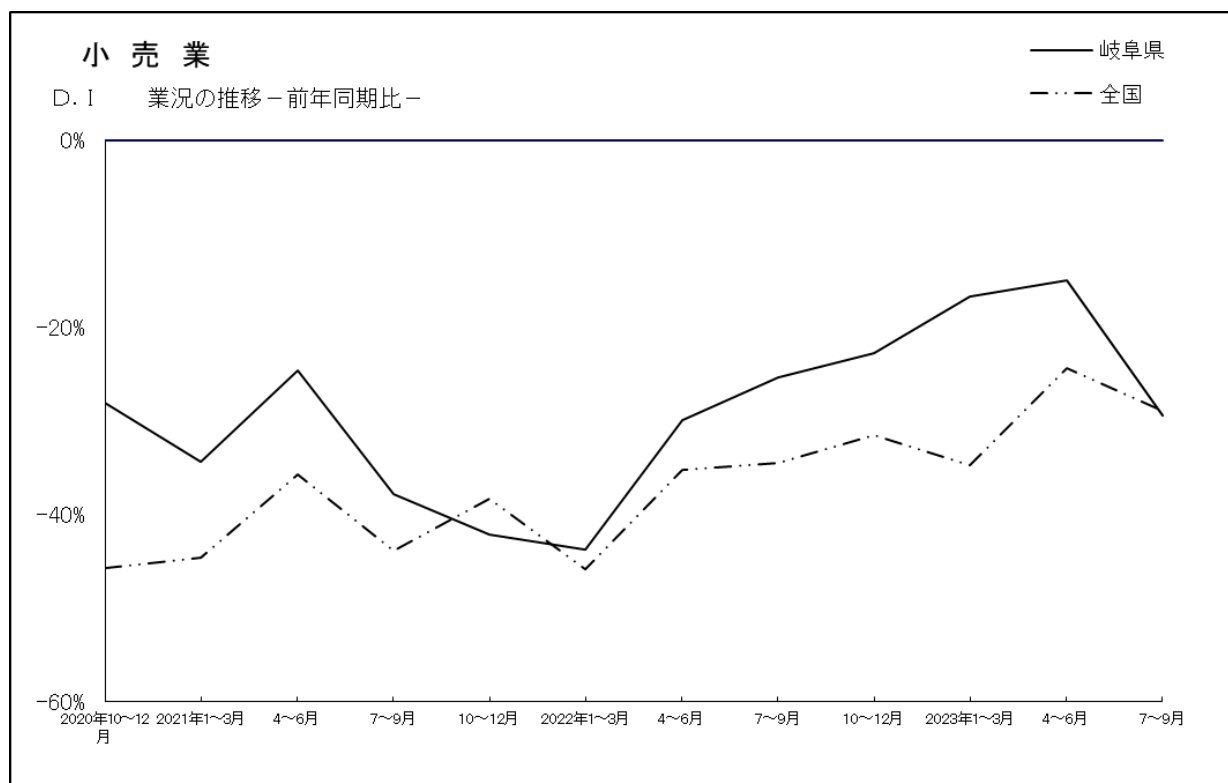
売上 D I : ▲8.8 で 10.3 ポイント悪化、採算 D I : ▲20.6 で 16.7 ポイント改善、資金繰り D I : ▲13.2 で 2.8 ポイント悪化となった。

設備投資は、4 企業 5 件で前期比 3 企業、3 件減少となった。

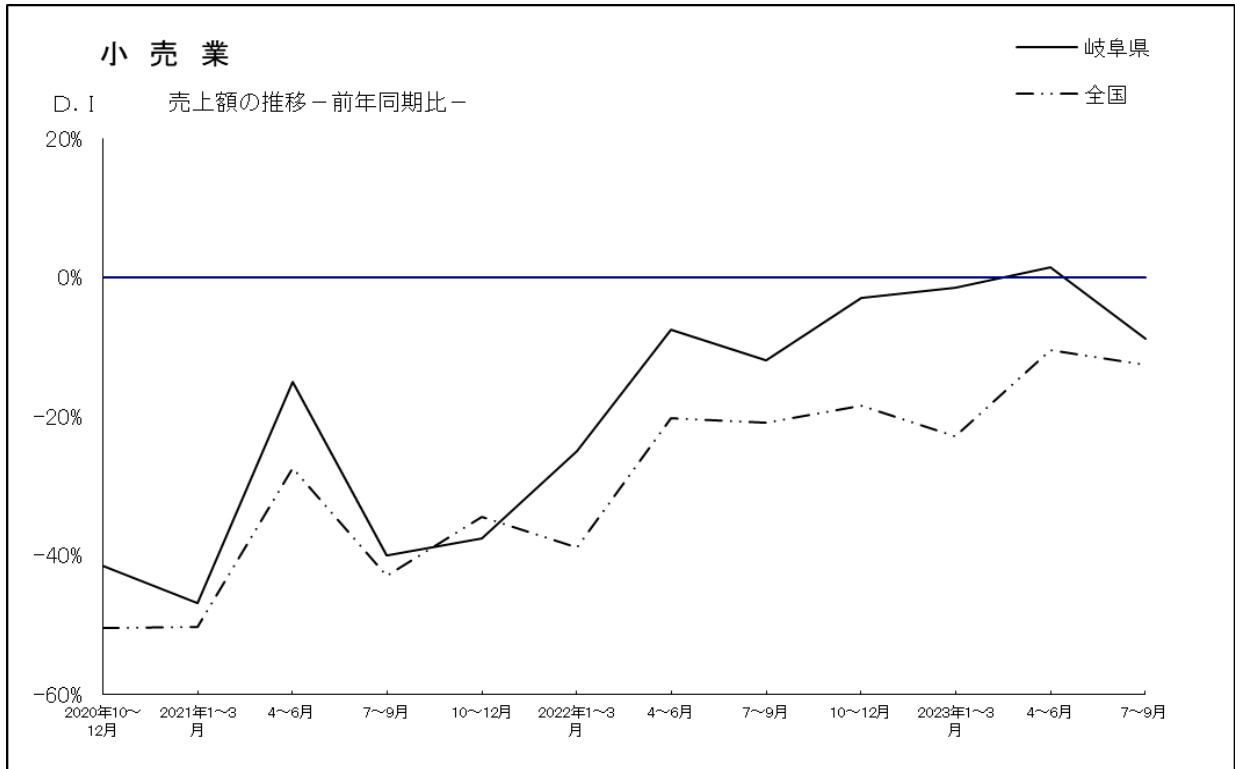
経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」が 31.7% でトップ、次いで「消費者ニーズの変化」が 15.9%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」が 11.1% であった。

来期は、全ての D I 値が悪化の見通し。設備投資は 12 企業 23 件の計画で、今期に比べ 8 企業、18 件増加の見通しである。

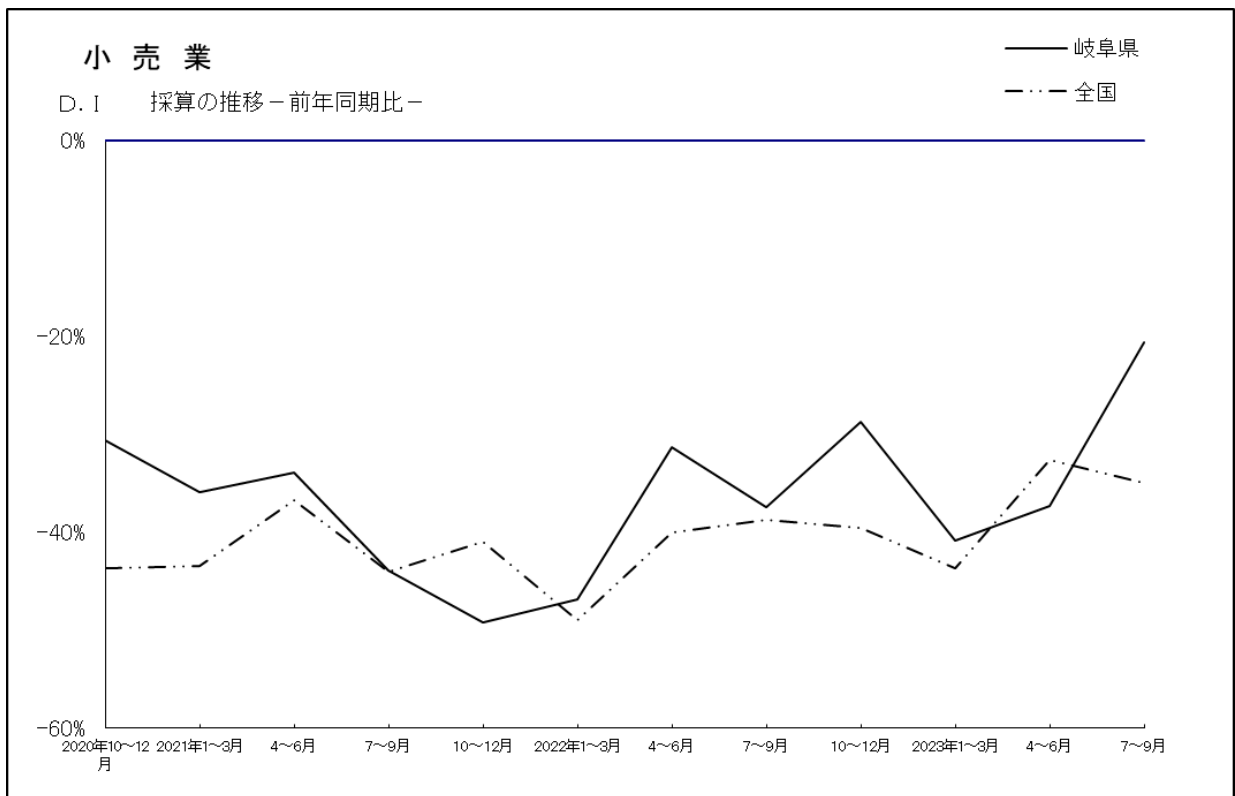
【G4-1】小売業 D I : 業況の推移



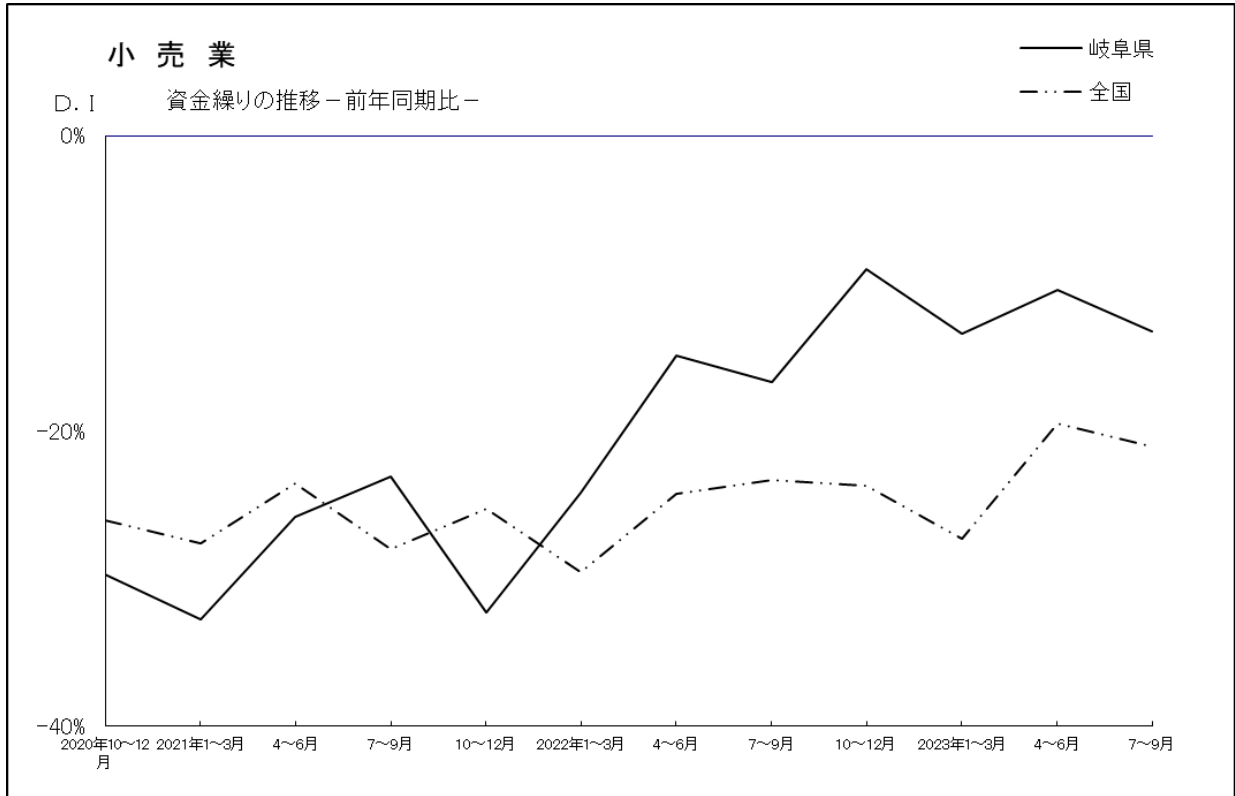
【G4-2】小売業D I：売上額の推移



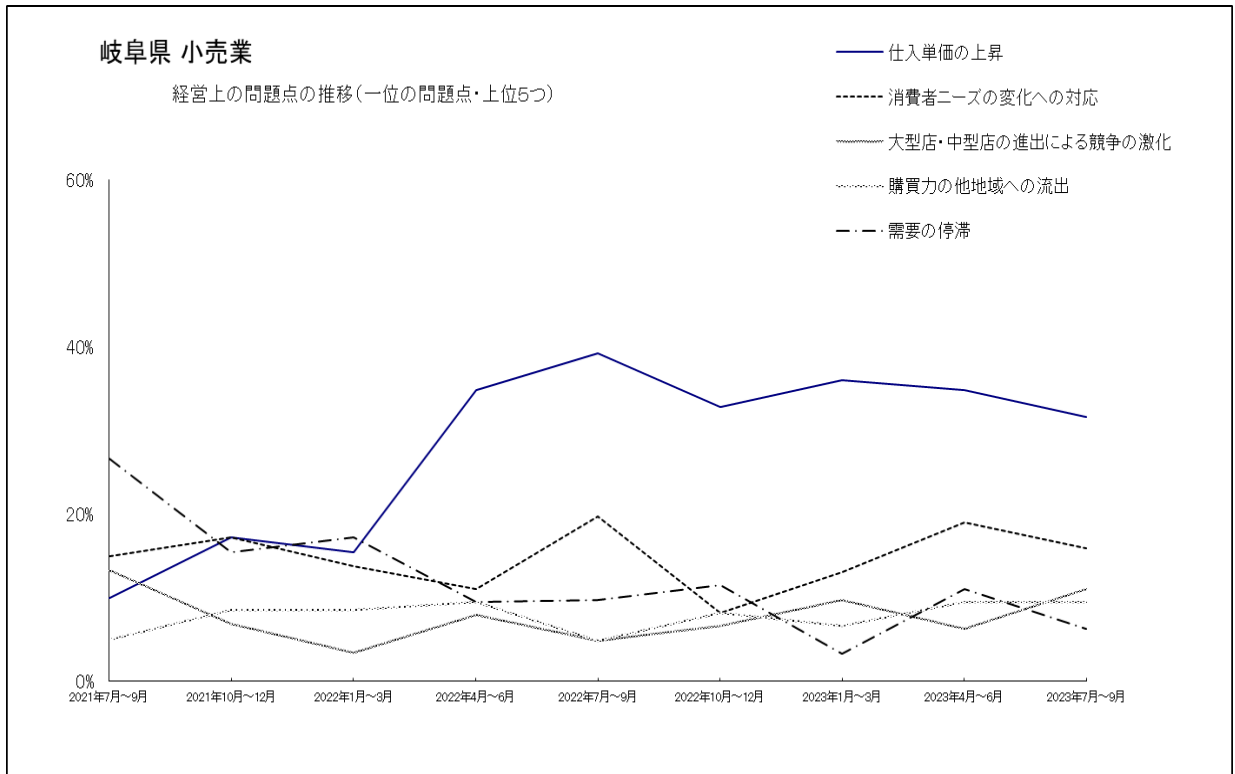
【G4-3】小売業D I：採算の推移



【G4-4】小売業D I：資金繰りの推移



【G4-5】小売業：「経営上の問題点」の推移



全てのD I 値が改善したが 業況D I 値は3ポイント以上悪化

Ⅳ サービス業

前年同期比の業況D I 値は、▲7.8 で前期に比べ3.2ポイントと悪化した。

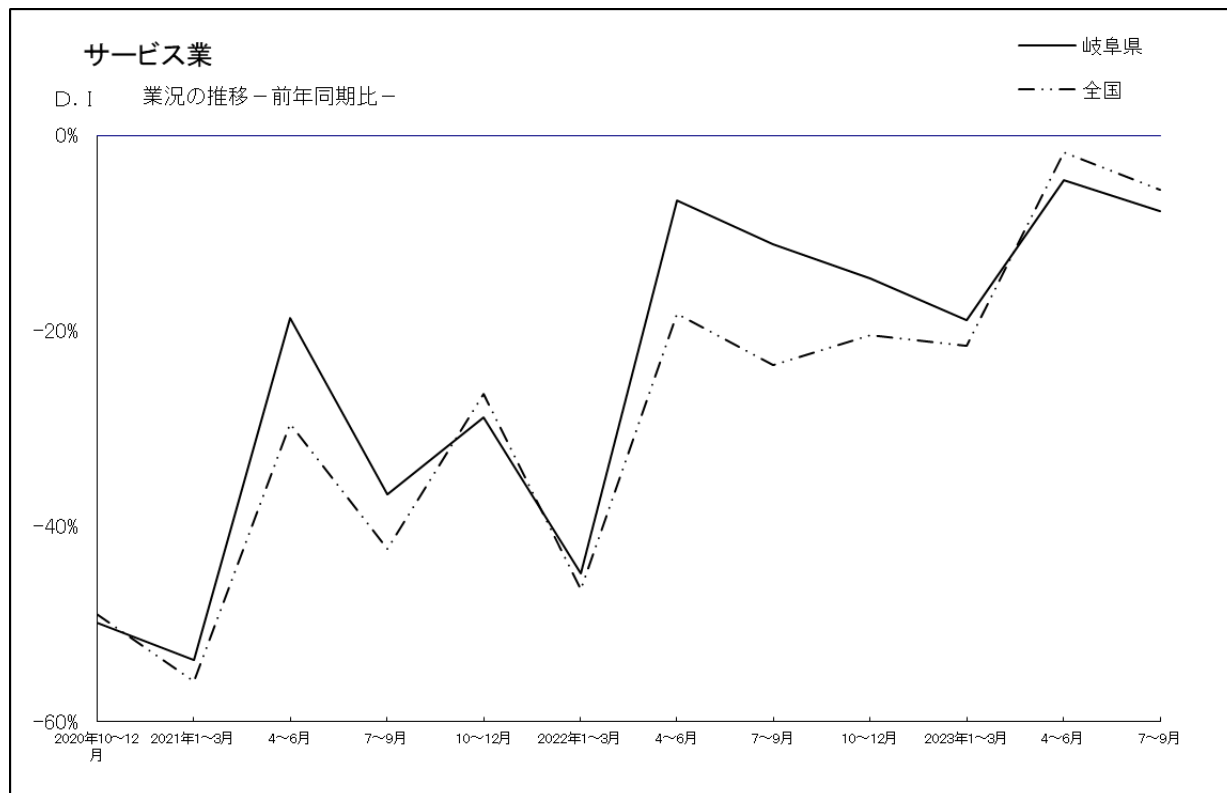
売上D I : 17.8 で6.5ポイント、採算D I : ▲23.3 で8.5ポイント、資金繰りD I : ▲5.6 で3.7ポイントの改善となった。

設備投資は、17企業22件で7企業増加、11件増加。

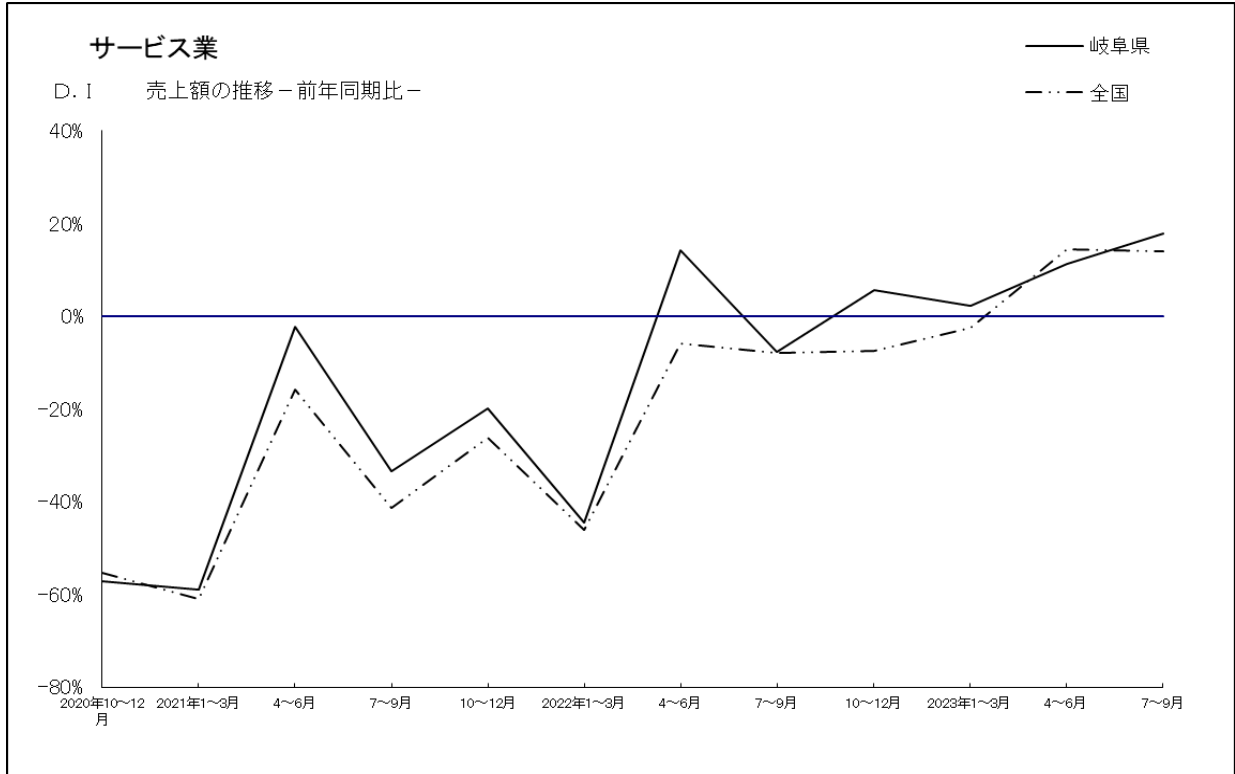
経営上の問題点は、「材料等仕入単価の上昇」が42.0%でトップ、次いで「人件費以外の経費の増加」が17.3%、「利用者ニーズの変化」が13.6%であった。

来期は、全てのD I 値が悪化の見通し。設備投資は9企業11件の計画で、今期に比べ8企業、11件減少の見通しである。

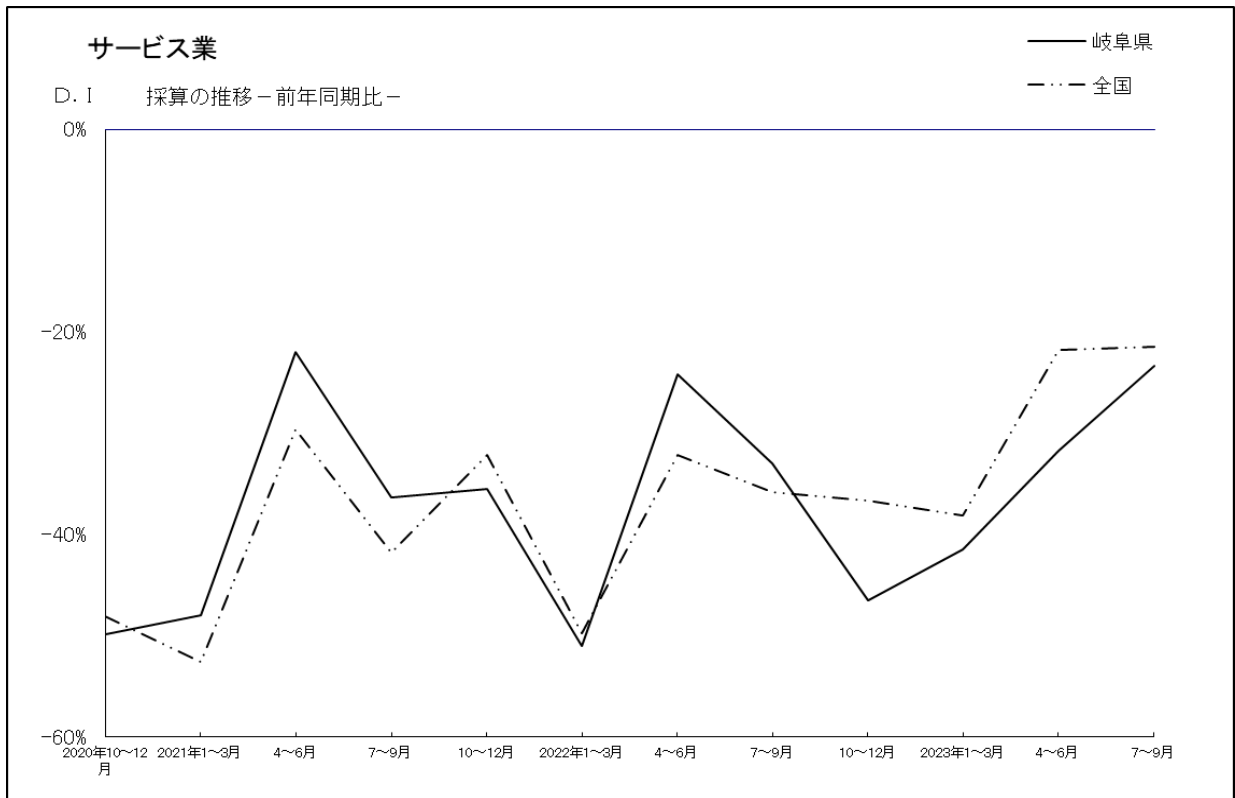
【G5-1】 サービス業D I : 業況の推移



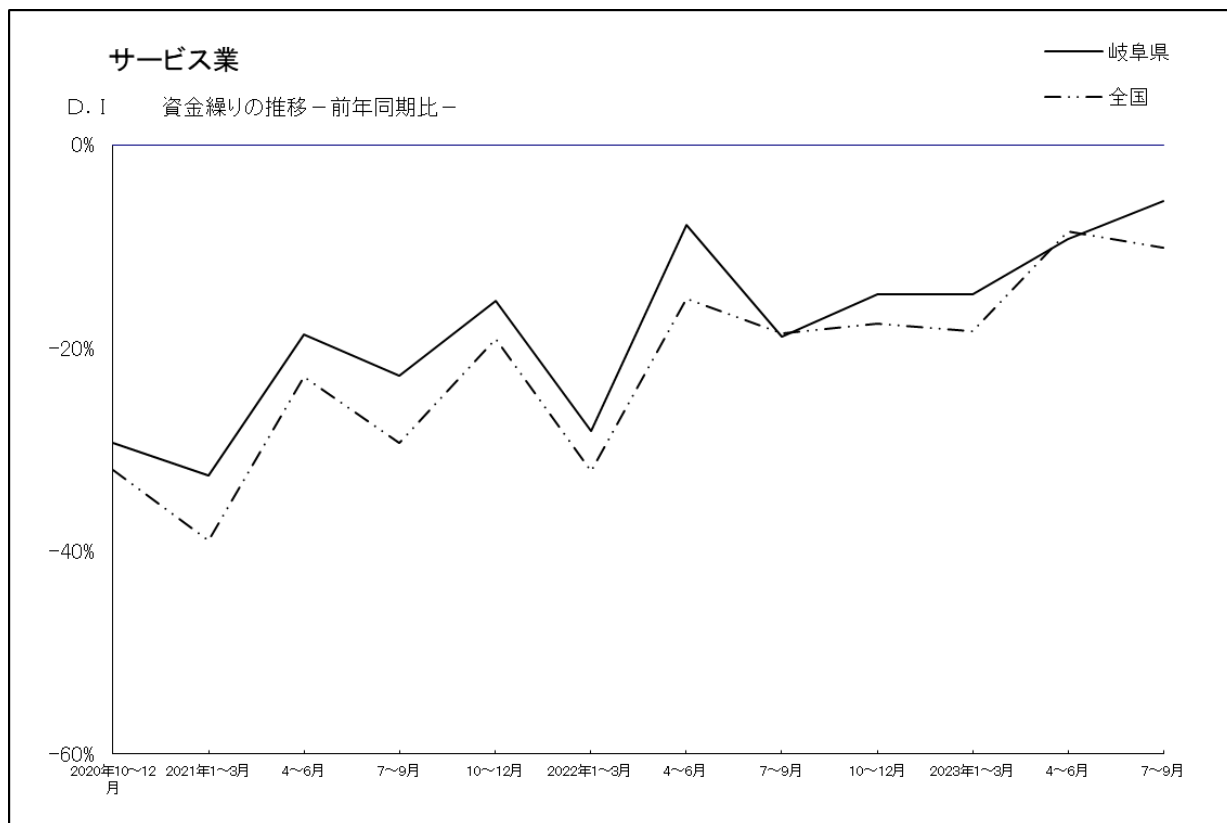
【G5-2】 サービス業D I：売上額の推移



【G5-3】 サービス業D I：採算の推移



【G5-4】 サービス業D I：資金繰りの推移



【G5-5】 サービス業：「経営上の問題点」の推移

